

平成 26 年度第 2 回地域密着型サービス運営協議会会議録

日時：平成 26 年 12 月 15 日（月）

介護保険運営協議会終了後

場所：二宮町役場 第 1 会議室

出席者：地域密着型サービス運営委員会委員：12 名

事務局：健康福祉部長・健康長寿課長・介護保険班班長・健康長寿班班長

介護保険班員 1 名・健康長寿班員 1 名・地域包括支援センター職員 2 名

傍聴希望者：7 名

1. 議題

(1) 地域密着型サービスの指定等の状況について

地域密着型サービス事業者の新規指定について及び地域密着型サービスに係る指定同意の状況について（資料 4）

資料 4 により事務局より説明

(2) その他

会 長 全体を通して、何かご意見・ご質問はありますか。

委 員 地域の高齢者に対して、小さい単位での企画等が必要だと考えます。ただ、使える場所が少ない気がします。学校や幼稚園などから場所を提供していただければ、子供と高齢者の間に関わりができ、関係が広がるのではないかと思います。

事務局 以前、就学前の児童と高齢者が交流する機会がありました。一人暮らし、または高齢者世帯の家庭は多くあり、子供が遊んでいる姿を見るだけでも元気になったという声を聞き、世代を超えた交流は大切だと思いました。ただ、交流をする際、怪我等の注意も必要になるかと感じました。

会 長 二宮町には高齢者の不在による空き家が増えてきました。そういう所を利用するのは、空き家対策の一つとしてもいいかもしれません。

委員 今度の改訂では、介護予防事業の充実が言われており、計画の中でも様々な施策が展開されております。二宮町が行ったアンケートの結果等をみると、年齢に伴い身体機能が低下している印象を受けます。介護予防事業には集合参加型よりも、好きな時間、好きな場所で参加が可能な自由参加型の事業が重要になると感じています。

また、聞いた話ではありますが、文科省が来年度から健康ポイント制度というのを導入するそうです。健康診断や運動をポイント化し、集めたポイントによって記念品等を贈る仕組みです。こういった内容で三島市、青森市、横浜市が事業を行っていると聞きました。二宮町では、場所・日付を特定せずに、自主的に行える健康促進事業をすすめる予定はありますか。

事務局 三島市や横浜市が行っている事業については我々も耳にしており、各自目標を持って取り組むのはとても大切だと感じています。ウォーキングは認知症対策に効果的ということで、計画の中にも入れさせていただきました。今は認知症対策とあわせて、ウォーキングプログラムという事業を町では行っています。他市町村が行っている事業の情報や、事例等がありますので、研究していきたいと思います。

委員 介護・福祉の人材確保についてよろしいですか。以前、神奈川県高齢者福祉計画の素案を見たところ、介護保険の安定的な提供のために人材確保が必要とのことでした。しかし、必要数を定める明確な方法が決まっていないという話を聞きました。市町村に言うべきことではないのは理解していますが、サービスの計画がある以上、実施するためには人材確保は欠かせない要件です。人材の必要数、または不足数の算定方法を明確化し、不足している数を増やしていく対策を県に要望していただきたい。

会長 よろしいでしょうか。長時間に及ぶ会議お疲れ様でした。こちらからは以上になります。

事務局 最後に、今年度は計画の策定ということで、今年度の会議は全4回になります。先ほどお話しさせていただいた通り、1月にパブリックコメントを実施し、その結果に基づいて2月上旬頃、4回目の会議を開催する予定となっておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

2. 閉会